

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

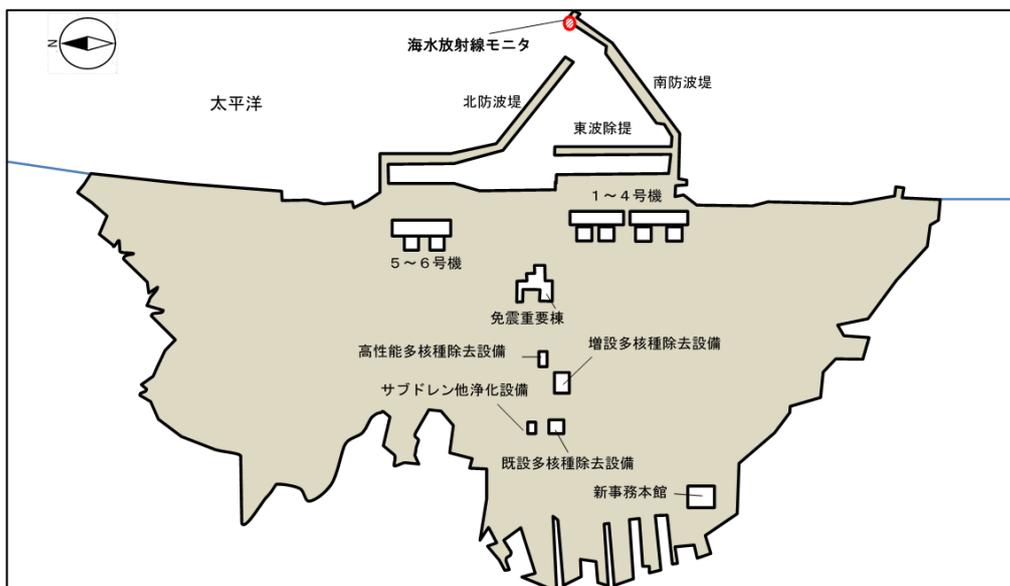
- 1 確認日  
令和4年12月21日（水）
- 2 確認箇所  
海水放射線モニタ（南防波堤港湾口）
- 3 確認項目  
海水放射線モニタの状況

### 4 確認結果の概要

東京電力では、平成26年に南防波堤の港湾口に海水放射線モニタを設置し、海水中の放射能濃度（セシウム134、137 全ベータ）を連続測定しているが、本年10月8日に海水放射線モニタが停止する事象が発生したことから、対応状況等について確認した。

（図1）（写真1）（前回確認：[令和4年1月26日](#)）

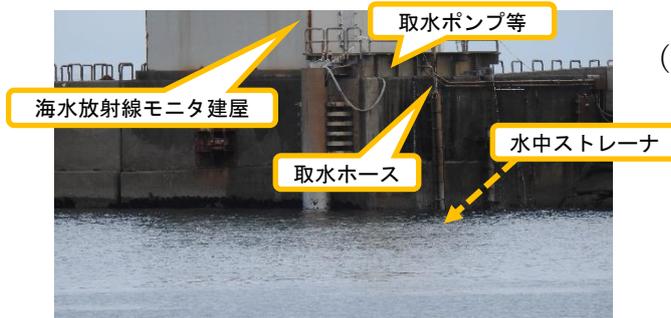
- ・東京電力によると、海水放射線モニタの停止は、サンプル取水ポンプ（陸上設置）の故障が原因であると推定され、ポンプを交換するとともに、フジツボ等が付着していた水中ストレーナ及び取水ホースを交換するなどして、10月24日に復旧させたとのことであった。
- ・東京電力では、今後、定期的に水中ストレーナや取水ホースを点検するとともに、海水放射線モニタを追設して多重化することを検討していくとしている。



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



(写真 1 - 1)  
 港湾の状況 (東波除提から撮影)



(写真 1 - 2)  
 海水放射線モニタの状況  
 (東波除提から撮影)  
 ※海水放射線モニタ建屋内にフィルタや検出器等が設置されている。

- 5 プラント関連パラメータ等確認  
 本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。